

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月10日

事業所名 放課後等デイサービス和み園筑紫事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			利用定員と施設の広さは適切である
	2	職員の配置数は適切である	1		4	あと一人、二人いれば円滑にまわせる。子どもの様子を余裕をもって見守れる。→新年度に向けて職員の配置を再検討している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	1	広めの3段ステップはあるが、比較的バリアフリーに対応した施設である
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		年度初めに職員がその年の目標を設定し、達成のための努力をしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			開所して初めての評価表で、今回の保護者の評価を今後の業務に反映していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		開所して初めての評価表で、今後もホームページで公開していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		常に各種研修の情報を入手しながら、必要に応じて適切な研修を受けることができるようにしていく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		日々の療育日誌と学習の記録、連絡帳、保護者との送迎時のやり取りをもとに、アセスメントを行い、個別支援計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		日々の療育日誌、学習の記録で、子どもの様子、学校や保護者からの情報などを記録している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		児発管が立案した後、職員間で検討し最終決定している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		年、月、週ごとに継続した活動と、日ごとに代わる活動を組み合わせ取り組んでいる
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			長期休暇の際は、週で取り組むイベントや、1日を使ってできるような屋外活動など多岐にわたって計画をしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		平日の下校時間が学年により違うため、その時間差を利用して個別活動と集団活動に取り組んでいる
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		朝礼時に、その日の活動の内容と役割分担等を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		支援終了後に個人の療育日誌に記入をし、細かい振り返りは、次の日の朝礼で行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		毎日、療育日誌と学習の記録を記入し、職員間の情報の共有と支援計画への反映に繋げている
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		相談支援事業所から依頼されるモニタリングと個別支援計画に基づくモニタリングを随時行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4	1		担当者会議には基本的には児発管が参加しているが、必要 に応じて児童指導員や保育士が同席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	5			保護者を通して、学校の情報には常に最新のものを入手するよ うにしているが、送迎時にはできるだけ担任の先生とお話す る機会を設け、情報の共有に努めている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	3	2		常に医療的ケアが必要な子どもはいないが、持病を持って いる持っている子どもに関しては、保護者との連携をつねに意 識している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	2	3		児童発達支援事業所とは入所が決まった時点で情報を共有 し、入所前に数回の利用体験を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している		5		卒業生はまだいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	2	3		保護者様を通して、センターとの連携を行っている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	3		公園などで遊ぶ機会を多くし、同じ小学校の子どもを誘い、一 緒に活動を行うことがある
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	2	2	筑紫野市、福岡県の協議会に積極的に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5			送迎時や連絡帳、SNSを使って、情報の共有、写真動画の配 信等を行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている		3	2	保護者に対しては個人的に相談にのり、様々な支援に繋げ ている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3	2		入所時や、前月に行う利用日の予約時に支援の内容、利用 者負担等の説明をしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	4	1		保護者に対しては個人的に相談にのり、様々な支援に繋げ ている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		2	3	感染症対策の為父母会等は行っていなかったが、今後は計 画し保護者同士の連携を図っていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	3	2		苦情受付担当を設け、対応できるようにしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	1		毎月の予約表に活動の説明や報告をしたり、SNSで行事予 定内容の説明や変更連絡などを発信している
	35	個人情報に十分注意している	5			職員全員で個人情報についての認識を統一している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	3	2		意思の疎通や情報伝達に配慮を要する子どもの利用はない が、今後そのような利用があった場合は職員全員で認識の 統一を図っていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	2	2	1	近隣の方を行事に招待することはないが、大家さんに季節の 挨拶のはがきを送っている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3		各マニュアルを作成するとともに、月1回の活動に取り入れ、職員全員で認識を共有し、その旨を保護者に周知している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	2		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		虐待防止の研修を隔月ごとに行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		契約の際、身体拘束についての説明を行い、理解している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		食物アレルギーの子どもに対しての報告を保護者からは受けているが、医師の指示書を受け取るまでには至っていない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		報告書を作成し同じ事案を起こさないよう気を付けている

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和6年2月10日

事業所名放課後等デイサービス和み園筑紫事業所 保護者等数(児童数)10(12) 回収数 9 割合 90%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9			勉強スペースも活動スペースも十分あってよいと思います	勉強と個人活動を分けることで集中して取り組めるよう配慮しています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1			新年度より職員の配置を再検討する予定です
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2			広めの3段ステップはありますが、比較的バリアフリーに対応した施設だと思います
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9			誕生月の受給者証更新時と半年後、また特別に見直しが必要な時など常に職員全員が周知計画に沿った活動ができるよう作成をしています	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9				年、月、週ごとに継続した活動と、日ごとに代わる活動とを組み合わせ取り組んでいます
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	1		公園遊びなどの際、同じ学校の子どもを誘い活動を行うことがあります
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9				契約時、質問時に説明をしています
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9			毎日連絡帳にその日の活動や様子を書いてくださっています。その姿が目に見えよう嬉しです。	連絡帳だけでなく、ラインなどで写真や動画を送ることもあります
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9				兄弟児支援、家族支援として相談を受けたら適切なお答えができるようにしています
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6	1		感染症対策の為行っていませんでしたが、次年度は計画に入れていこうと考えています
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1			苦情受付担当を設け、対応できるようにしています
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9				常に子どもの声に耳を傾け、保護者とも情報の共有に努めています
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9			Instagramで活動の様子が見れてうれしく思います	ホームページで自己評価の結果を配信しています
	14 個人情報に十分注意しているか	9				職員全員で個人情報についての認識を統一しています
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	1			各マニュアルを作成するとともに、月1回の活動に取り入れ保護者にも周知しています
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9				
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9				利用者総数からの利用者の割合が多いことから、楽しみに通ってくれていると思います
	18 事業所の支援に満足しているか	9			いつも寄り添った温かい支援に心から感謝しています	保護者からの感謝の言葉を励みに常にどなたにも満足していただけるよう考えていきます

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせ実施されることが想定されている。